



ウェビナー

2020認証プログラムの紹介

2021年1月20日(水)

ご注意ください！

本説明会は、2021年1月20日（水）に開かれました。

今後、規則や運営上のルールについて、変更される可能性がございます。その場合は、2021年1月20日以降の日付でのご連絡事項が優先されます。

今後のレインフォレスト・アライアンス本部および日本チームからの、ご連絡にご注意いただけますよう、お願い申し上げます。

目次

1. はじめに
2. 新しいプログラムの原則
3. 課題別の刷新点
4. 体制面での刷新点
5. 導入の流れ
6. もっと詳しく知るには
7. 新しいレインフォレスト・アライアンス認証マークについて
8. マーケットプレイス2.0使用の注意事項
9. 質疑応答



動画
『2020認証
プログラムの
紹介』

ご視聴はこちら: <https://bit.ly/35ycebW>

新しいプログラムの原則

コアマーケットチーム

一倉千恵子

オルティス美由紀

レインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの原則



透明性



継続的な改善



責任の共有



農場向けとサプライチェーン向け
取組みの統合



保証の強化



透明性

——消費者は、透明性とポジティブな影響の拡大を企業に求めている——

新レインフォレスト・アライアンス認証プログラムが可能にすること。

- 持続可能性に関するリスクおよび持続可能性に関する取り組みについての、より良いデータの収集
- 持続可能性を分析・計測するための新しいツールや技術の使用

これにより生産者と企業は、

- ✓ 持続可能性に関する取り組みの改善に向けてよりの確な判断ができる
- ✓ 要件を遵守する上での最重要課題への対処に集中できる



継続的な改善

——持続可能性に関わる新しい課題が、気候変動と複雑化した世界によって絶えず生み出されている——

新レインフォレスト・アライアンス認証プログラムが可能にすること。

- 単純な合否判定方式からの脱却
- 生産者と企業に対しては、
 - 持続可能性に関するリスクに対する理解を促進
 - 継続的な改善への重点的な取り組みを支援
 - 独自の持続可能性に関する取り組み目標の選択・設定・測定を支援

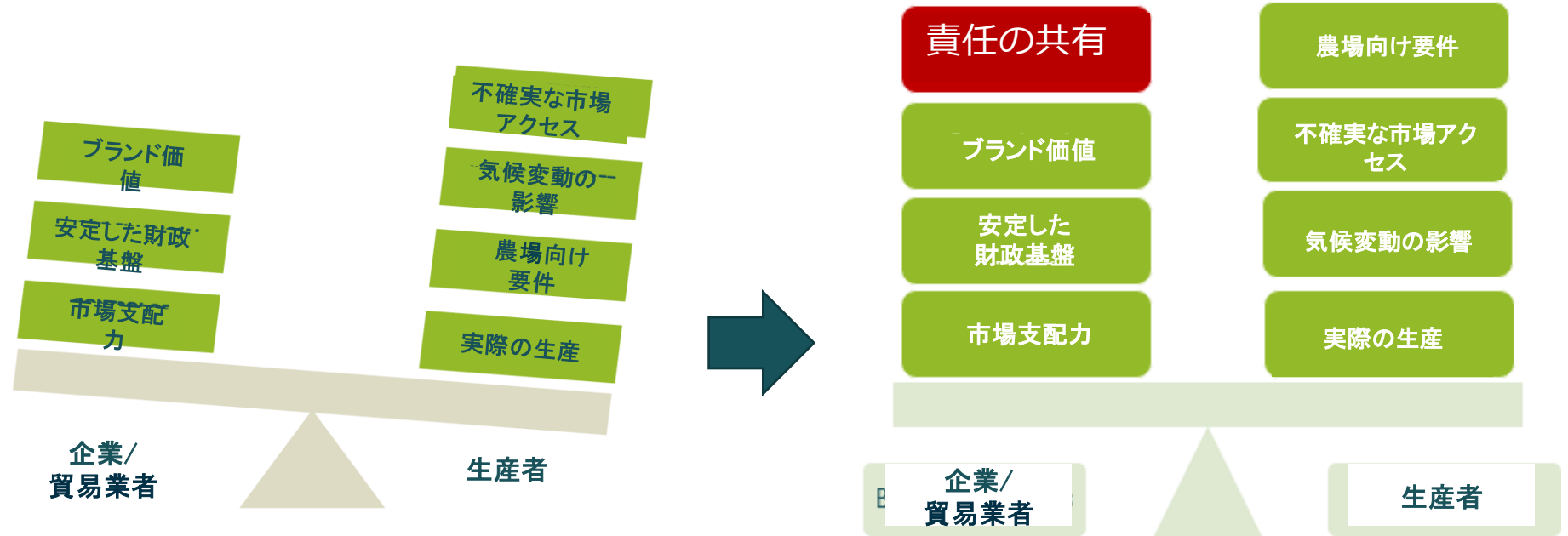
これにより生産者と企業は、

- ✓ 持続可能性を改善するために戦略を適宜調整できる
- ✓ 達成した環境面・社会面での成果を立証できる



責任の共有

認証は、十分な報奨なしに生産者に不平等な重荷を負わしている





責任の共有

新しい認証プログラムが可能にすること。

- 持続可能性への取り組みに対する生産者への補償の改善
- サステナビリティ投資に関わる費用のサプライチェーン全体での分担
- 責任ある調達方法と、持続可能性の進捗状況に関する双方向の説明責任

これにより生産者と企業は、

- ✓ 認証に付随する負担と価値に関して透明性を向上できる
- ✓ より大きな経済的資源を生産者に向けられる



農場とサプライチェーンの取り組みの統合

——持続可能な農業はサプライチェーン全体の責任——

新しいプログラムが可能にすること。

- 農業およびサプライチェーン活動全体に対する単一で一貫性のある要件体系の提供
- 流通・加工過程 (Chain of Custody) の管理ではなく、サプライチェーンを重視
- 危険性の高い関連状況の中で、サプライチェーンにおける業務に関する社会的・環境的要件の導入

これにより生産者と企業は、

- ✓ サプライチェーン全体で一貫性のある要件対応がおこなえる
- ✓ サプライチェーンのトレーサビリティを強化できる
- ✓ 持続可能な商慣行を実践できる



保証の改善

新しいレインフォレスト・アライアンス認証プログラムは、認証機関によっておこなわれる、第三者による遵守状況の審査に依拠。

新しいプログラムで保証システムが改善された点は、

- 各生産者もしくは企業に付随するリスクにもとづいて、検証(審査)の種類と重点事項を規定
- 審査の質を向上
- 認証機関の技術と能力の強化を促進

これにより生産者と企業は、

- ✓ 認証制度への信頼が増す

基準の構造

4 種類の要件

主要要件 (農場+サプライチェーン)

- 必須の合否型主要要件
- 持続可能な農業向けの基本的な要件

改善要件 (農場向け)

- 時間をかけ、より高い作業水準を達成
- 各3年の認証周期の要件に段階を設定

継続する改善要件-スマートメーター(農場向け)

- 基準により識別された継続する改善範囲
- 自身の作業内容の個別の状況とリスクをもとに、組織によって改善目標を設定

自己選択要件 (農場+サプライチェーン)

- 生産者と企業が特定の持続可能性問題点に取り組むことを選択できる



サプライチェーン要件 どの要件が自社にあてはまるか？

登録時にプラットフォームから提示される要件

- ・ 作物、作業内容、規模、場所など様々な条件により異なる

要件の6つの章

1. 管理(農場とSC関係者)
2. トレーサビリティ (農場とSC関係者)
3. 収入と責任の共有 (農場とSC関係者)
4. 農業 (農場のみ)
5. 社会 (農場とSC関係者)
6. 環境 (農場とSC関係者)

+用語集含む付属文書(Annex)

+ 手引き(Guidance)と定型書式



2020認証プログラムにおける 課題別の刷新点

環境

- 気候変動に対応した農業
- 森林と高保全地区
- 総合的病害虫管理 (IPM)

気候変動に対応した農業

- 基準の全編にわたって導入
- たとえば、

- リスク査定で気候リスクもカバー
- 適した植物品種の選抜
- 肥料を最適化し、農薬を削減
- 森林をはじめとする自然生態系の保全
- 水とエネルギーの節約
- 温室効果ガスの排出量(自己選択)
- 洪水等の気候変動による非常事態を想定した住居



気候変動が私たちの生活を混乱させているのは農場の農業です。予測不能な天候/シーズン、短縮された栽培期間、干ばつ、極端な気温、病害虫等これまで以上にさらされており、世界中の生産者が急いで困難に直面しています。その難題は農機レベルに留まらず、サプライチェーンの遅れや、品質、価格上乗れ呼び起こしかならない波及効果を生み出します。レインフォレスト・アライアンスが提供する気候変動に対応した農業は、標榜農産品をかんたんに、かんたんに、かんたんに引き継ぐ人々を支援しながら、収入を維持、さらには向上できるように、生産者とその影響に備え、準備する機会をもちます。つまり、農業サプライチェーンの回復力を向上させるのです。

気候変動に対応した農業とは、迅速な農業生産者が開発したアプローチです。持続可能な農業とは異なり、特定の農業はコミュニティ、システムまたは農作物の気候に固有な特定の問題を克服するため、専ら持続可能な方法が求められるのです。以下の3点を中心にこれを実現しています：

- 農業生産性や収入を持続可能な方法で向上させる
- 気候変動への適応させ、回復力を構築させる
- 気候変動、気候変動からの回復を阻害しないし抑制する

新たな認証プログラムでは、気候変動に対応した農業は農場の生態系状況やその農産物のニーズを考慮に入れながら、気候、地域社会、世界、システム間の気候リスクと脆弱性を査定するため、定量的な指標が特定のツールを提供します。特定の農場の気候問題を解決し、将来の影響に対する回復力を向上させるための適切な戦略の組み合わせが、気候変動に対応した農業の柱となっています。

新しい持続可能な農業基準にどのように盛り込まれるのか？

気候を主要とする独立した要素は要件よりも、新基準全体の範囲や回復力を中心とした気候変動に対応した農業へと導きます。気候変動に対応する部分は、新基準の農場要件全体に盛り込まれています。

- **第一節：管理**：農場は総合リスク査定を行います。気候変動リスクと脆弱性の査定がその一部となります。この査定を通じて、生産者は現地の気候の変動により何がどう変わるか、リスクが最も高い分野、また可能な対策と行動について理解を深めます。
- **第四節：農産物リスク査定**で特定した状況を基に、この章は気候変動による影響に対応し、回復力を向上させるために導入すべき農業慣行が中心となります。生産者は特定したリスクを回避すべく、慣行や農具の選択を行います。例えば、干ばつが問題になることでは、土壌の健全性を向上し、干ばつによる影響を軽減させる土壌管理戦略を無視しません。
- **第六節：環境**：基準は自然生態系の破壊を禁止し、さらに農場やその周辺に立寄っている自然生態系や生物多様性の健全、保護、修復技術を提供しています。休耕地(保護区域)やアグロフォレストシステムおよび水質の健全とより良い管理の促進を目的とした自然生態系の回復方法や、農具選別に付随するエネルギー効率向上のためカーボンプリントの査定を行う方法を導きます。農場が気候に与える影響を減らしながら、気候変動に対する回復力を向上させるための一助です。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

森林と高保全地区



レインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムとは？
森林破壊

世界の森林や森林コミュニティを保護するため、更にできること

グローバル・フォレスト・ウォッチの報告書によると、地球の原生林の約半分がすでに喪失し、毎年更に1200万ヘクタール（2950万エーカー）が破壊されています。増大する気候変動や生態系への森林破壊の影響のみならず、世界的に気候変動による気候変動に及ぼす影響が大きく、深刻的と言えます。

森林破壊に対する新しいアプローチとは？

責任性および説明責任（Accountability Framework Initiative）やその他の有識者専門非政府組織が提唱したアプローチに迫り、新たなプログラムでは森林破壊のみならず、湿地や泥炭地を言及する自然生態系の保護も求められます。その分、保護される面積が大きくなります。

新しいレインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準は、2014年1月1日以後の自然生態系の破壊や転換を許しません。保護の要請として、特定の森林の基準地区を常に森林破壊の監視が厳格な認定を受けた農家はGPS の位置がチェックされます。こうした自動リスク査定は、審査員がより効率的に森林破壊を検出し、生産者が森林破壊の恐れがあることにより適切に対応するために役立ちます。締切日以後に見られた森林破壊は、復旧が可能な軽微な場合を除き、基本的に認証の除外となります。

新基準では、生産者が自然生態系を増加させることを義務付けています。既存の農場やアクアポニクスシステムのある又は保全された土地において、農業の影響を最小限に抑え、生物多様性、気候、資源の長期的な持続可能性に好影響を与えることを保証します。

従来の基準との違いは？

UTZ の農場管理基準では、特定の条件下でない限り、原生林同様二次林も2008年以後の破壊を許しています。2017レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準は、2008年以後の保全確保地区も、2014年よりすべての自然生態系の破壊を禁止しています。新しいレインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準は森林全体の自然生態系を保全すべく、広範囲化したこのアプローチを採用しています。

写真 © Greg Osoff

- 森林をはじめとする自然生態系の転換禁止（2014年1月1日以降）
- リスク緩和措置の導入を含めた、高保全価値（HCV）地区の保全
- アグロフォレストリーや保全地区等を通じた最低自然植生被覆率の達成
- 保証の強化
 - レインフォレスト・アライアンス森林破壊危険分布図
 - 農場の地理空間データ

概要は、下記からダウンロードいただけます。
ra.org/2020-program

総合的病害虫管理(IPM)

- IPMは、再生可能な農業を支える重要な原則
 - より持続可能な農業手法
 - 害虫に強い農法と生態系の健全性
 - 農薬の使用の段階的な削減もしくは撤廃
 - 植物の多様性を育み、生物多様性と自然資源を保護
- 2020農薬管理規則
 - 統合された禁止物質リスト(合併前の規則に近い)
 - 農薬や代替手法の使用に関する知識の構築
 - 代替手法の使用を奨励するための例外的な使用に関する方針
 - 生物多様性と自然資源が保護され、それらの質が向上
- 長期的な目標:IPMにもとづいた手段と農作物別取組みの拡充



レインフォレスト・アライアンスは人と自然が調和し繁栄する世界を目指しています。生物多様性・生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォームの2019年報告書によると、生物多様性の損失を減らすための対策がとられていない限り2050年までに100万種の生物が絶滅の危機に瀕することになると推定されています。絶滅が避けられない種は人間にさまざまな恩恵をもたらしています。世界自然保護基金(WWF)は、生態系の劣化と損失が、汚染、気候変動、森林伐採に加え、世界中の種の絶滅の主な原因であると推定しています。

農業は生物多様性に悪影響を及ぼす要因である一方、自然の生態系を生態系系に組み込み、土壌中の生命を保護したりすることで、プラスの影響をもたらすことができます。こうした対策により農家が生態系に与える影響を減らすことができ、生態系に与える影響を減らすことで、生態系に与える影響を減らすことができます。このような理由から、生物多様性保全はレインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの主要な目標の一つとなっています。

新基準のアプローチ

新基準においては、生物多様性を農業と環境保護の両方から守るための基本原則を定めることを目的としています。このため、生物多様性保全は新しいレインフォレスト・アライアンス持続可能な農業のための基本原則として管理、農業、環境に与える影響のいくつかの基本項目は、農業による生物多様性への悪影響の防止とプラスの影響の両方を目的としています。

既存の自然生態系地域の保全がこのミッションの鍵となります。2014年以降、自然生態系の転換を許可しないことに加え、新基準では高保全価値(High Conservation Value)(HCV)地区を対象とした追加保護を設けています。HCV地区は、生物学的、生態学的、社会的そして文化的に極めて重要な地域です。新プログラムにおいては、リスクベースのアプローチに基づき、農業のリスクレベルに応じて適切な保護を必要とする場所としてHCVを特定します。例えば、レインフォレスト・アライアンス認証農業者が重要な生物多様性地区(Key Biodiversity Area)(KBA)の中または近

くにあると確認された場合、該当するKBA における重要な動物種の保全を目的とする具体的な対策が必要となります。

新基準における要件の多くは、生物多様性に対する生産活動のプラスの影響を最大限に高め、悪影響を最小限に抑えることを目的としています。

- アグロフォレストリー(農作物の脇に既存の木を育て、新しい木を植えるという手法)のような慣行を通じて自然生態系の多様性を維持・増進させ、野生動物のために適り適を作る。
- 総合的病害虫管理を実施し、農地で栽培する農作物や雑草の種類の多様化させ、機能的な多様性(花粉媒介者や害虫の天敵)を助ける対策を取る。
- 狩猟を禁止し、外来侵入種の拡大を最小限に抑え、人間と野生動物の接触を最小限にする対策により、絶滅危惧種やその他の在来動物種の保全を支援。
- 土壌の浸食制御や土壌有機物を増やすなどの方法によって土壌の健全性を改善し、農業による悪影響を最小限に抑える。

認証の再構築の一環として、データを活用し上記の基準項目遵守を強化します。衛星画像を使い森林伐採を確認したり、生産者が収集したデータより自然生態系の健全性を評価することが可能になります。また、合資判定のみを基準とするのではなく継続的な改善を奨励する取組みとして、生産者は認証保有農場プロフィールを通じて顧客やパートナーに選択状況や農業を共有することができます。

従来の基準との違いは?

UTZ の農薬管理基準と2019レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準においても生物多様性の保全や保護を目的としていましたが、新基準では、新たなリスクベースのアプローチを取り入れたことに加え、例外的なHCV リーンアップとワークアウトと協力し、HCV地区に対する農薬を定義するためにリス

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

総合的病害虫管理 (IPM)



レインフォレスト・アライアンスは人と自然が調和し繁栄する世界を築いています。生物多様性・生態系サービスに関する持続可能な科学政策プラットフォームの2019年報告書によると、生物多様性の損失を減少させるための対応が急がれ、残り約10年以内に100万種の生物が絶滅の危機に陥ることもと推定されているため、国連が掲げるSDG15はこれまで以上に重要です。生物多様性の損失の主な原因は人間による活動、特に農業です。世界自然保護基金（WWF）は、生態系の劣化と損失が、汚染、気候変動、または採取以上に、世界中の種の絶滅の主な原因であると認識しています。

農業は生物多様性に悪影響を及ぼす要因である一方、自然の生態系を生態系に組み込んだり土壌中の生命を保持したりすることで、プラスの影響をもたらすこともできます。こういった対策による農場が採集活動の影響にのみ対応できるものとなり、生産者にとってもコストをより一層削減するのに役立ちます。このような理由から、生物多様性保全はレインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの主要な目標の一つとなっています。

新基準のアプローチ

新基準においては、生物多様性を農業と環境保護のあらゆる側面の基本原則にするを目的としています。そのため、生物多様性保全は新しいレインフォレスト・アライアンス持続可能な農業のための基準全体に組み込まれています。管理、農業、環境に関する多くのレベルでの基準項目は、農業による生物多様性の影響の防止とプラスの影響の促進の両方を目的としています。

既存の自然生態系地区の保全がこのミッションの鍵となります。2014年以降、自然生態系の転換を許可しないことに加え、新基準では高保全価値（High Conservation Value/HCV）地区を対象とした追加保護を求めています。HCV地区は、生物学的、生態学的、社会的そして文化的に極めて重要な地域です。新プログラムにおいて、リスクベースのアプローチに基づき、農業のリスクレベルに応じて適切な保護を必要とする場所としてHCVを特定します。例えば、レインフォレスト・アライアンス認証農場が重要な生物多様性地区（Key Biodiversity Area/KBA）の中または近くに

くあると確認された場合、該当するKBA における重要な動物種の保全を目的とする具体的な対策が必要となります。

新基準における要件の多くは、生物多様性に対する農業活動のプラスの影響を最大限に高め、悪影響を最小限に抑えることを目的としています。

- アグロフォレストリー（農作物の脇に既存の木を育て、新しい木を植えるという手法）のような慣行を通じて自然由来の多様性を維持・増進し、有害生物の発生を抑制する。
- 総合的病害虫管理を実施し、農業で栽培する農作物や雑草の種を多様化させ、種間的多様性（花粉媒介者や害虫の天敵を助ける対策を取る）。
- 狩猟を禁止し、外来種入植の拡大を最小限に抑え、人間と野生動物間の接触を最小限にする対策により、絶滅危惧種やその他の重要動物の保全を確保。
- 土壌の養分レベルと有機物を増やすなどの方法によって土壌の健全性を改善し、農業による悪影響を最小限に抑える。

認証の過程の一環として、データを活用し上記の基準項目遵守を強化します。衛星画像を用いた森林伐採を確認したり、生産者が収集したデータにより自然由来の被害を評価することが可能になります。虫害発生のみを発生させているような被害の発生を抑制する取組みとして、生産者は認証保有農場プロフィールを通じて顧客やパートナーに進捗状況や結果を共有することができます。

従来基準との違いは？

IPM の農業管理基準は2011年レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準においても生物多様性の保全や保護を目的としていますが、新基準では、新たなリスクベースのアプローチを取り入れることにより強化されました。HCV リージョンスペシャルークと協力し、HCV地区に対する農場の影響を定量化するためにリス



概要は、下記からダウンロードいただけます。
ra.org/2020-program

農業への依存度が高く、
 自然な解決策への依存度が低い

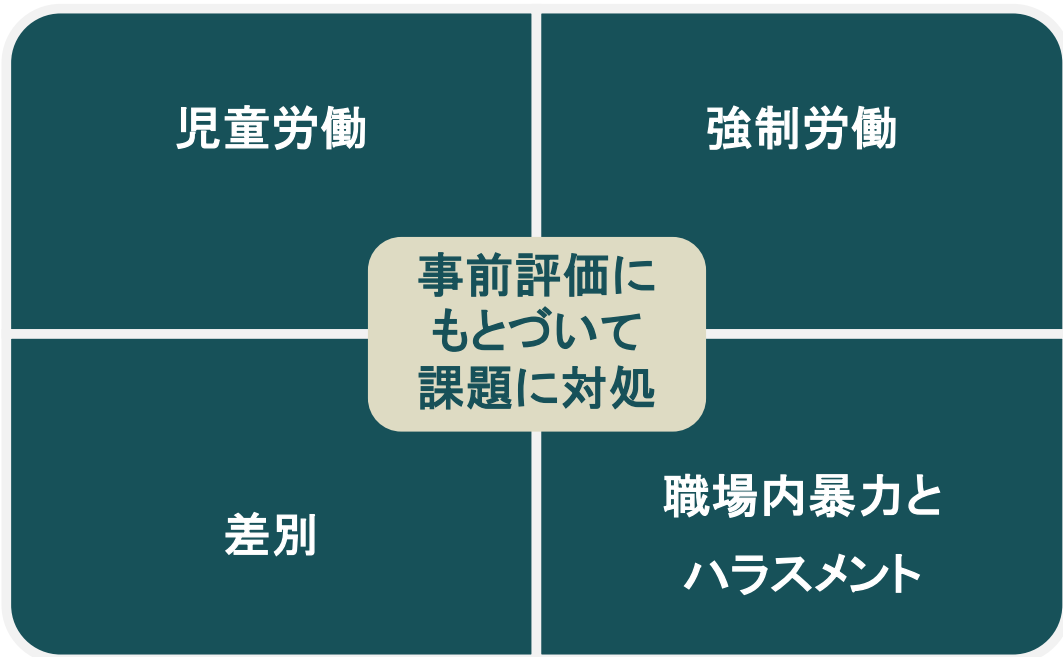
自然な解決策への依存度が高く、
 化学農薬への依存度が低い

社会課題と人権

- 人権デュー・デリジェンスに対する事前評価対処方式
- ジェンダー平等

重要な人権課題に対する事前評価対処方式

4つの人権デュー・デリジェンスに対する事前評価対処方式



- すべての大規模認証農場および個別認証農場は基本的な仕組みを有していなければならない
- レインフォレスト・アライアンスが作成した危険分布図にもとづいた、児童労働および強制労働に関する要件
- サプライチェーン中の高リスク事業者に対しても、事前評価して対処



人権侵害はコーヒー、ココアそして茶葉から木材製品やパーム油といった世界でも一般的に取引される商品の中の製造過程において広がっています。ここ数十年、改善が見られたものの、児童労働、強制労働、差別、職場内暴力やハラスメントは、依然として深刻なサプライチェーンの多くに存在しています。

その理由は複雑ですが、例えば、多次元的貧困、社会保障及び法律の欠陥、体系上の不平等などは挙げられる課題の一部に過ぎません。児童労働に対する課題にしても、その期間の深刻さが分かれます。国際労働機関によると、全世界で約200万人の子供が児童労働に関与し、その71%が農業に従事している報告されています。そして、その子供たちの多くは長時間にわたり危険な環境で仕事をしています。

このような不正についてレインフォレスト・アライアンスが今まで、そして今後も実施する事はありません。しかしながら、毎年の経験からも私たちの基準でこのような人権侵害を禁止するだけでは十分であることがわかってきます。侵害行為に対する、認証の即時取り消しにつながる条件の禁止や罰則は必ずしも決定効果があることが実証されています。実は、そうした措置では人権侵害の実態が見えにくくなり被害者や私たちにとって事態を見逃すリスク、悪化を助長して後戻りします。このため、2020認証プログラムではそうした問題に取り組むべく事前評価対処方式を推進するのです。この新しいリスクベースアプローチは、予防、積極的な関係、改善に注力し、農家の所有やそれを利用する者に対して課題を解すよりも積極的に取り組むよう促すものです。また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」や「UN Global Compact企業行動指針」が定める、人権デュー・デリジェンスの優れた取組みに対する国際的なコンセンサスの高まりとも照調するものとなります。

事前評価対処方式はどのように機能するのか？

事前評価対処方式では認証保持者が児童労働、強制労働、差別、職場内暴力やハラスメント、リスクの査定と軽減に対して責任を負う内部委員会を設立する 必要があります。委員会は当該農場、農場グループまたはサプライチェーンにおいて、そのリスクがなされているのか、その影響を軽減します。また、違反が見られた際に優先状況を軽減する方法についてのトレーニング手段を有し、改善手段はレインフォレスト・アライアンスの新しい改善原則に沿わなければならない。また追加的で、リスク緩和が必要とされた国や地域を特定するためのリスクマップを使用します。私たちのサプライチェーン案件では、農場に次の認証原材料の一次加工者は、人権侵害のリスクが高いと認められた場合、一時加工者の施設においても事前評価対処プログラムの実施を要求されます。

児童労働

人権侵害の原因を排除しないことは、問題が古くも数々なることはありません。そのためレインフォレスト・アライアンスでは、一丸となってそうした課題を解決すべく、認証農場、政府、市民社会とサプライチェーンのパートナーが協力し合うことを推進しています。農場は課題解決に向けた進展についての情報をサプライチェーンのパートナーと共有することが可能となり、また責任の共有という進展を促し、課題に対して後からの更なる改善を求めることができます。

強制労働

同意よりもよまぬ改善の選択

認証の再評価において、私たちは認証が単なる一連の適合要件であるという考えを変えます。時間をおいて農場を訪問して人権問題を是正することで、違反が発生した場合に認証を拒否に撤回するのではなく、認証が支援するように査定された子供たちや労働者を保護する為の既存の継続的な改善方法を促していきます。事態が深刻な場合には、認証の停止や認証の取り消しといった措置を今後同様に適用することができます。

職場内暴力とハラスメント

私たちの先行基準との違いとは？

レインフォレスト・アライアンス2017持続可能な農業基準は、これら人権侵害の全ての課題について事前に禁止する手法を使用してきました。一方、IFL 農場管理基準では、児童労働のリスクがある農場または農場グループに対し、児童労働の予防、モニタリングそして改善のコミュニティの担当者を指定することが求められています。レインフォレスト・アライアンス2020 持続可能な農業基準は、児童労働に対するIFL7の手法をもとに、事前評価対処方式により強制労働、差別、職場内暴力やハラスメントについても対応とします。農場毎の一次加工業者が人権侵害の防止に取り組むこと私たちのサプライチェーン案件で求められるのは、今度が初めてです。新たな基準では、事前評価対処方式の実施、方法、そして認証保持者が実施していくことで設立プログラムが提供されます。

概要は、下記からダウンロードいただけます。
ra.org/2020-program

事前評価対処方式の仕組み

レインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムとは？

事前評価対処方式

農業の現場における児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントに対する取り組み



人権侵害はコーヒー、ココアそして茶葉から木材製産品やパーム油といった世界でも一般的に取引される商品の多くの製造工程において広がっています。ここ数十年、改善が見られたものの、児童労働、強制労働、差別、職場内暴力やハラスメントは、未だに多くの製品やサプライチェーンの多くに存在しています。

その理由は複雑ですが、例えば、多次元的貧困、社会保障及び法律の欠如、体系上の不平等などは挙げられる課題の一部に過ぎません。児童労働に対する課題にしても、その期間の深刻さが分かると、国際労働機関によると、全世界で約200万人の子供が児童労働に従事し、その71%が農業に従事している報告されています。そして、その子供たちの多くは長時間にわたり危険な環境で仕事をしています。

このような不正についてレインフォレスト・アライアンスが今まで、そして今後も取るべきではありません。しかしながら、毎年の経験から私たちの基準でこのような人権侵害を禁止するだけでは十分であることがわかってきました。侵害行為に対する、認証の即時取り消しとなる乗取の禁止や罰金の規定等があることが実証されています。実は、そうした措置では人権侵害の実態が見えにくくなり責任や私たちにとって事態を見逃さず、早期発見と対応することが難しくなっています。このため、2020認証プログラムではそうした問題に取り組むべく事前評価対処方式を推進するのです。この新しいリスクベースアプローチは、予防、積極的な関係、改善と並んで、農家の所有や生産を奨励する役割を担った課題を扱うよりも積極的に取り組むよう促すものです。また、関連の「ビジネスと人権」に関する指導原則や、UN Global Compact企業行動指針」が定める人権サプライチェーンの優れた取組みに対する国際的なコンセンサスの高まりも協賛するものとなります。

事前評価対処方式はどのように機能するのか？

事前評価対処方式では認証保持者が児童労働、強制労働、差別、職場内暴力やハラスメントのリスクの査定と軽減に対して責任を負う内部委員会を設立する 必要があります。委員会は当該農場、農場グループもしくはサプライチェーンにおいて、そのリスクを査定されています。その結果を監視します。また、違反が発見した際に修正状況を査定する方法についてのトレーニング手順を有します。改善手順はインフォームド・アライアンスの新しい改善指針に沿って

なければなりません。また加盟体では、リスク緩和策が必要とされた国や地域を特定するためのリスクマップを活用します。私たちのサプライチェーン要件では、農場に次ぐ原料の一次加工業者の人権侵害のリスクが高いと認められた場合、一時加工業者の施設においても事前評価対応プログラムの実施を要求されます。

人権侵害の原因を排除したいことは、関係者が望むところではありません。そのためレインフォレスト・アライアンスでは、一丸となってそうした課題を解決すべく、認証農場、政府、市民社会そしてサプライチェーンのパートナーが協力し合うことを推進しています。農場は課題解決に向けた進展についての情報をサプライチェーンのパートナーと共有することが可能となり、また責任の共有という進展を望み、課題に対して後からの更なる支援を求めることができます。

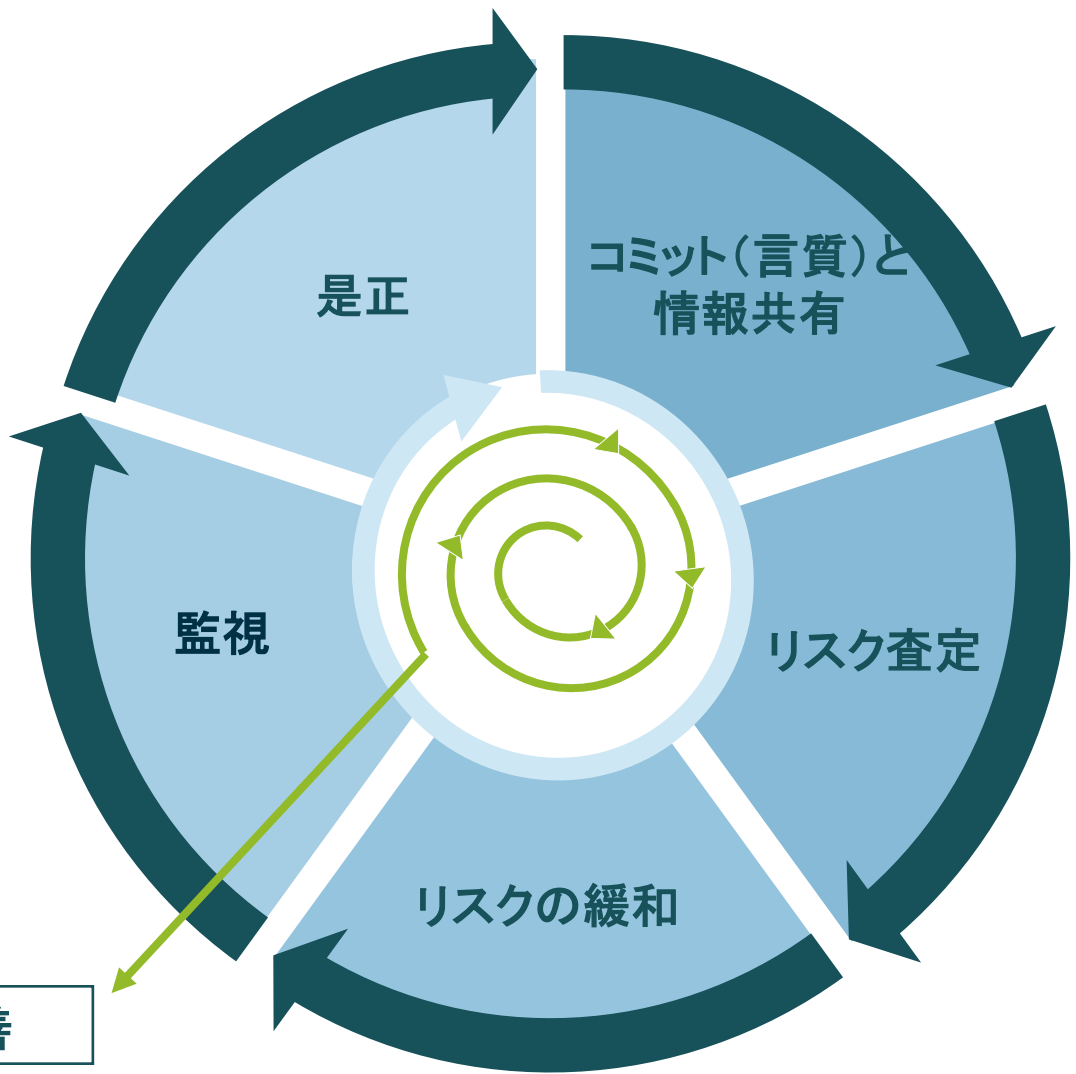
合意よりも透明な意思の選択

認証の再確認において、私たちは認証が単なる一連の合意条件であるという考えを退けます。時間がかかっても農場が実際に人権侵害を修正することで、違反が発生した場合に認証を即時に撤回するのではなく、認証が支援するように査定された子供たちや労働者を保護する必要があるの継続的な改善手法を望んでいます。事案が深刻な場合には、認証の停止や認証の取り消しといった措置を今後と同様に適用することができます。

私たちの先行基準との違いとは？

レインフォレスト・アライアンス2017持続可能な農業基準は、これら人権侵害の全ての課題について単純に禁止する手法を使用してきました。一方、IFL 農場管理基準では、児童労働のリスクがある農場または農場グループに対し、児童労働の予防、モニタリングそして改善のコミュニティの担当事務を指すことが求められています。レインフォレスト・アライアンス2020持続可能な農業基準は児童労働に対するIFLの手法をもとに、事前評価対処方式により強制労働、差別、職場内暴力やハラスメントについても対応とします。農場の一次加工業者が人権侵害の防止に取り組むこと私たちのサプライチェーン要件で求められるのは、今回が初めてです。新たな基準では、事前評価対処方式の実施方法、そして認証保持者が実施していくべきで定立プロセスの報告を促します。

- 事前評価対処方式の目的
 - 人権課題の見える化
 - それに対処するための体制作り
- 事例を発見することよりも、適切な管理の仕組みを重視する認証
- 明確な制裁制度
 - 仕組みが正常に機能していない場合
 - 事例が深刻で組織的問題の場合



概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

継続的な改善

ジェンダー平等

2020プログラムで強化されたジェンダー平等に関する内容

- ジェンダーについても、農場向けリスク査定でカバー
- ジェンダー平等の推進に関する要件
- ジェンダー要件に関わる苦情申し立ての仕組み
- ジェンダー細分類指標
- ジェンダーに配慮した生活所得ツールと生活賃金ツール



すべてのジェンダーにとって公平な未来とは、私たち全員にとって見守るべき未来です。ジェンダーの平等は、農業の持続可能性と経済発展を促進する上で不可欠な要素です。これは、見過ごすことができない気候変動に対する解決策でもあります。また農場の生産性を向上させるための重要な方法でもあります。

男性も女性も農業において重要な役割を果たしていますが、女性の生産者や労働者は持続可能な未来のために過小評価されているケースが多く見られます。女性には賃金に比べて、農業生産に関連する教育、訓練、アクセスプログラム、意思決定、その他の機会へのアクセスが少ないうちが多いです。

ジェンダー平等は全人類の幸福です。女性への投資は農業を平等に利用できるものになり、生産性は向上し、持続性は高まります。多くの国々において、訓練を受け、十分な知識を持った女性の方がより生産的な高い生産性を持ち、土地の管理が得意で、持続的に高いパフォーマンスを挙げられて利用することが示されています。また、女性が自分自身を支持する集団の一部にその収入の何れかを家族や地域社会に投資するに努めています。これはより堅固な、より生産的なプログラムでは、ジェンダー平等の推進に努める、より強固で一貫した農業開発方針をとしています。

ジェンダー平等に関する新たな取り組みとは？

本プログラムでは、農場や企業が自ら実施しているジェンダー平等の取り組みを評価し、それに基づいてリスク査定ツールを運用することで、ジェンダー平等を推進していきます。認証基準を（農業・企業を含む）は、男女別データを作成することによるジェンダー平等の可視化が求められます。認証基準では、ジェンダー平等の推進に努めることを含む、6つの主要な取り組みを評価し、認証基準、労働者、顧客を評価します。

また、認証基準では、ジェンダー平等に取り組むための包括的計画を

は要求する生命とかが定められます。認証基準または認証要件は、認証リスク査定ツールを用いて、認証・ジェンダーに関する基本的なリスク査定を実施します。このツールはジェンダーの平等性に対して見守るための指標としてリスク査定に用いられる標準を特定し、農場生産者のリスク評価を改善するために役立ちます。この評価指標を改善することに加え、女性スタッフまたは生産者は、毎年、認証標準（生産者型）と認証標準（労働者型）に対して、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントについての意見を述べる機会があります。また、ジェンダーに関する意見や苦情の解決方法については、新しい「苦情解決プロセス」の一環でも「農業生産者型」に基づき、改善の支援を行います。

認証基準のためのジェンダー平等スマートメーター

企業も農場も上記の主要要件を満たす必要があるですが、さらに農場は認証基準からジェンダー平等スマートメーターへの導入が促されています。スマートメーターは、2020年基準の導入されるツールであり、農場の状況に応じて自己選択的な改善目標を設定することを奨励します。スマートメーターは、認証標準の目標を達成し、農場が自ら設定した目標を達成することを奨励する、私たちの認証の規範の導入に向けたものです。

ジェンダー平等スマートメーターは、認証リスク査定に基づいており、農場が自ら設定したより具体的なジェンダー平等目標を設定

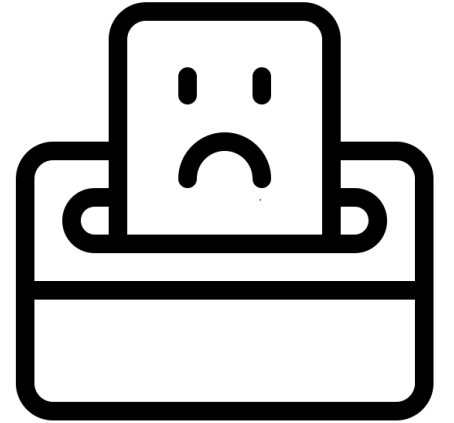
*また、農業生産に関わる農家や労働者の中には、ノンバイナリー（従来の男性・女性の区分に当てはまらない人）も多いため、私たちの、農業のノンバイナリーに関わるすべてのジェンダー平等の目標は、性別を特定しない人にも適用される。農業の企業やジェンダー平等を推進している人々の女性の未来とエンパワーメントは、女性も最も優先されたジェンダーであることから、私たちの認証プログラムの中心的なテーマです。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

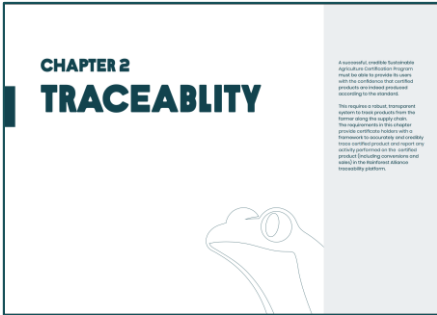
苦情メカニズム

- 苦情処理メカニズムは、ビジネスと人権に関する国連の指導原則29および31に準拠
- さまざまな利害関係者からの公式および非公式の提出メカニズムを奨励
- 苦情提出者に対する報復を防ぐためのより大きな考慮事項
- ジェンダー委員会、事前評価対処委員会、コミュニティと相互に連絡
- 是正プロトコールと連結する追跡措置



トレーサビリティ

- 従来トレーサビリティ要件
- 農場からサプライチェーンまでトレーサビリティを強化



- ・農場要件
- ・サプライチェーン要件
- ・付属文書 6

トレーサビリティ

新しい基準には以下が含まれる。

- ・ “伝統的”なトレーサビリティ要件、たとえば、
 - ・ 認証製品の非認証製品からの完全分離
 - ・ 入出荷量に基づく計算
 - ・ 加工過程における派生製品への転換率
- ・ 農場とサプライチェーン間の差異を埋め、頑健性を向上するために拡張された要件、たとえば、
 - ・ 農場とサプライチェーン両方の基準の中でトレーサビリティに関する課題を包含
 - ・ 農場の段階から、分離方式のレベルに関する適切な申告内容を含む記録文書を作成
 - ・ 重複販売防止の強化
 - ・ レインフォレスト・アライアンストレーサビリティプラットフォームへのデータ入力に関する、より明確な要件

- ・農場要件
- ・サプライチェーン要件
- ・付属文書6

主な注意点

- ・販売、出荷登録は、四半期の終了時から2週間以内
- ・販売されなかった数量および/または規格外品や紛失数量は、四半期の終了時から2週間以内にトレーサビリティプラットフォームから削除
- ・最終製品が小売り・ブランドに販売され、同社が購入の確認をするまで必要 (RA)= オンライントレーサビリティシステム上で引換 (消費) 処理をされるまで
- ・マスバランスクレジット—異なる認証保有者に販売してから2年間、
但し既存のマスバランスクレジット (合併前の数量) は、2020年10月1日から3年間有効。

生活水準

- 責任の共有
 - サステナビリティ差額
 - サステナビリティ投資
- 生活賃金と生活所得

サステナビリティ差額 (SD)

当該作物の市場価格に上乗せして認証生産者に対して支払うべき追加の現金。

すべての作物に共通する要素

- サステナビリティ差額 (SD) は必ず生産者／労働者に直接届く。その一部を団体責任者が差し引くことはできない。
- 生産者に対してSDの用途を規定することはできない。
- 大規模農場はSDを労働者の福利に使用しなければならない。
- 生産者団体の小規模生産者（団体構成員）のSD使用目的に規定はない。



このアプローチをとる理由とは？

農業を生業としながら十分な生活を立てることは容易ではありません。作物や生産地にかかわらず、農業は気候や病害虫から資本や市場へのアクセスなど様々な不安定要素にさらされています。結果として、世界中どこであっても、ほんの少しでも生産量が減少すると多くの生産者、とりわけ小規模生産者は貧困ライン下に陥いやられることとなります。さらに悪いことに、多くのレインフォレスト・アライアンス認証生産者が依拠するグローバルサプライチェーンは脆弱にでき物です。生産者は価格、交渉力、交渉力、持続可能な生産に必要とされる資源の交渉に別して無力である一方で、主要なリスク、生命維持の義務、そして気候変動の影響などに耐えなければならないのです。

「サステナビリティ差額」と「サステナビリティ投資」とは何か？

サステナビリティ差額
サステナビリティ差額は認証生産者に付加的に必ず支給される現金で、作物の市場価格に上乗せされるものです。サステナビリティ差額は定額ではありません。可能な限り、農産物生産者として支払いの責任を持つ市場関係者の間で交渉を行い、その価値は最も支払いやすいバイヤーが負うこととなります。これは生産者の持続可能な農業基準の達成要件を満たすための交渉の過程を通じて与えられる支払いという原則があり、当該基準に対して体系化された持続可能な生産手法の継続的な実行に対するインセンティブとなるものです。

サステナビリティ投資
サステナビリティ投資とは、必須の現金投資または現物投資のことで、レインフォレスト・アライアンス認証製品のバイヤーから認証生産者に支払われ、持続可能な農業基準の達成要件を満たすことを支援するという明確な目的で行われます。

これらの投資形態には、生産者が農業基準において必須項目あるいは必須の改善項目の基準を満たすために必要な投資、そして認証にかかる費用（子システム内部管理システムの実施や審判費用）について含まれます。サステナビリティ投資は投資計画で生産者への特定の支払いにのみ向けられるべきで、バイヤーは自らの投資について報告しなければならない。

サステナビリティ差額は生産者がより高い現金で労働者を雇うことを可能にする助けについて働きます。大規模農場では、労働者に賃金利益をもたらす分額に対してサステナビリティ差額を費やすことが必要となるでしょう。分配方法の決定については、農産物生産者の代表者が協議の場を共有する必要があります。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

各作物別支払い者

サステナビリティ差額の支払者

要件 3.2.3 の参照：「認証製品の購入者は、販売者が市場価格、品質プレミアム、またはその他の差額に加えて、現金でサステナビリティ差額を受け取ることを保証します」。

農作物/部門	第一バイヤー	その他	ブランドオーナー
コーヒー	適用	適用外	適用外
カカオ	適用	適用外	適用外
茶類	未定	未定	未定
バナナ	適用	適用外	適用外
果実	適用	適用外	適用外
ヘーゼルナッツ	適用	適用外	適用外
ココナッツ油	適用	適用外	適用外
ハーブとスパイス	適用	適用外	適用外
バニラ	適用	適用外	適用外

注意：農場が他の農場から購入し、所有権が変更された場合、認証製品を購入した農場が第一バイヤーになります。

導入時期、最低金額等詳細は、追ってご連絡します。



このビジョンを実現するために2020持続可能な農業基準では、レインフォレスト・アライアンス認定付き作物のバイヤーに対する二つの新しい「サステナビリティ差額」(「サステナビリティ投資」)についてふられています。

このアプローチをとる理由とは？
農業を生涯として十分な生活を立てることは容易ではありません。作物や生産地にかかわらず、農業は気候や市場から資本や市場へのアクセスなど様々な不安定要素にさらされています。結果として、世界中どこであっても、ほんの少しでも生産環境が変化すると多くの生産者、とりわけ小規模生産者は苦境に陥る下へ追いやられることとなります。さらに悪いことに、多くのレインフォレスト・アライアンス認証生産者が依存するグローバルサプライチェーンは脆弱に脆弱です。生産者は価格、交渉力そして持続可能な生産に必要とされる資源の交渉に別して無力である一方で、主要取引先、生産者の債務、そして気候変動の影響などに耐えなければならないのです。

「サステナビリティ差額」と「サステナビリティ投資」とは何か？

サステナビリティ差額

サステナビリティ差額は認証生産者に付加的に必ず支払される金額で、作物の市場価格に上乗せされるものです。サステナビリティ差額は定額ではありません。可能な限り、農場自体/生産者として支払いの責任を持つ市場関係者の間で交渉を行い、一部の場合はその支払いバイヤーが負うこととなります。これは生産者の持続可能な農業基準の農場要件を満たすための能力と経済的活動に対して与えられる支払いという意図があり、当該基準において具体化された持続可能な生産手法の継続的な実行に対するインセンティブとなるものです。

サステナビリティ差額は生産者がより高い現金での労働者報酬を確保することを可能にするために設計されています。大規模農場では、労働者に賃金利益をもたらす分野に対してサステナビリティ差額を費やすことが必要となるでしょう。分配方法の決定については、農場労働者の代表者が協議の場を持ち開催されます。

サステナビリティ投資

サステナビリティ投資とは、必須の現金預金または現物投資のことで、レインフォレスト・アライアンス認証製品のバイヤーから認証生産者に支払われ、持続可能な農業基準の農場要件を満たすことを支援するという明確な目的で行われます。

これらの投資形態には、生産者が農業基準において必須項目を完了し、必須の改善計画の基準を満たすために必要な投資、そして認証にかかる費用(デジタル内部管理システムの実施や審判期間)について含まれます。サステナビリティ投資は投資計画で生産者への特定のターゲットを定めて行われ、バイヤーは自らの投資について報告しなければなりません。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

サステナビリティ投資 (SI)

農場要件に沿った改善を可能にするために、個々の農場もしくは生産者団体に対してレインフォレスト・アライアンス認証製品のバイヤーがおこなう、現金もしくは現物支給による投資。

すべての作物に共通する要素

- 現金もしくは現物支給による支払いが可能で、生産者団体と第一バイヤー間で合意すれば分割も可能。
- 主要基準や必須の改善要件を達成するための投資に向けられる。
- 生産者が策定した投資計画にもとづく。
- バイヤーが差別化を図るための文言・表示とは無関係。
- サステナビリティ投資は、生産者へのサステナビリティ差額の現金支払いに取って代わることはできない。



レインフォレスト・アライアンスでは、持続可能性を高めるにわたる努力を促しています。また、各産業界を共に持続可能な未来のために、それぞれのサプライチェーンで課題を解決していくことを促しています。認証取得やサプライチェーンとは、その組織と互いの関係が共有されるものです。そのためには生産者の健康と投資が保証され、より持続可能な農業や生産者の努力が認められるシステムへの期待が実現されます。

このアプローチをとる理由とは？

農業を主要としながら十分な生産を立てることは容易ではありません。気候や生息地がかわります。農業は気候や気候変動から根本や市場へのアクセスなど様々な不確定要素に左右されます。結果として、世界中どこであっても、ほんの少しでも気象環境が変化すると多くの生産者、とりわけ小規模農家は収入が減少し、不安にやられることとなります。さらに悪いことに、多くのレインフォレスト・アライアンス認証生産者が参加するグローバルサプライチェーンは構造的に不均衡です。生産者は価格、交渉条件として持続可能な生産に必要とされる資源の交渉に無力である一方で、主要なリスク、気候変動や食料、食料に気候変動の影響などに耐えなければならないのです。

このビジョンを実現するために2020年持続可能な農業基準では、レインフォレスト・アライアンス認証許可期間のバイヤーに対して二つの要件「サステナビリティ差額」と「サステナビリティ投資」についてふられています。

「サステナビリティ差額」と「サステナビリティ投資」とは何か？

サステナビリティ差額

サステナビリティ差額は認証生産者に付加する必ず支払われる現金で、作物の市場価格に由来するものです。サステナビリティ差額は認証生産者から、可能な限り、最終消費者にまで届く責任を負うべきです。認証生産者の間で交渉を行い、大衆の関心はその支払いを第一バイヤーが担うこととなります。これは生産者の持続可能な農業事業の発展を促進する。その努力と特定の活動に列して見られる支払いという意思が、認証基準において明確化された持続可能な生産手段の継続的向上に不可欠な要素となるのです。

サステナビリティ差額は生産者が高い現金で労働者を雇うことを可能にする役割についても担っています。大規模農場では、労働者に賃金保証をもたらす分野に対してサステナビリティ差額を費やすことが必要となる場合があります。労働者の賃金については、農場労働者の代表者と協議の場を持ち込まれます。

サステナビリティ投資

サステナビリティ投資とは、必須の現金投資または現物投資のことで、レインフォレスト・アライアンス認証製品のバイヤーから認証生産者に支払われ、持続可能な農業基準の改善要件を満たすことを及ぼすという明確な目的で行われます。

これらの投資計画には、生産者が農業基準において必須項目あるいは必須の改善項目の標準を満たすために必要な投資、そして認証にかかわる費用（例えば内部監査システムの実施や管理費用）についてあります。サステナビリティ投資は投資計画で生産者によって特定されたニーズに向けて行われるべきで、バイヤーは認証の投資について報告しなければならない。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

サステナビリティ投資の支払い者

サステナビリティ投資の支払者

農作物/部門	第一バイヤー	その他	ブランドオーナー
コーヒー	適用	適用外	適用外
カカオ	適用	適用外	適用外
茶類	未定	未定	未定
果実	適用	適用外	適用外
バナナ	適用	適用外	適用外
ヘーゼルナッツ	適用	適用外	適用外
ココナッツ油	適用	適用外	適用外
ハーブとスパイス	適用	適用外	適用外
バニラ	適用	適用外	適用外

導入時期、最低金額等詳細は、追ってご連絡します。

責任の共有

さらに公平なサプライチェーンの実現

このビジョンを実現するために2020持続可能な農業基準では、レインフォレスト・アライアンスは、持続可能な農業基準を長年にわたる努力と投資で実現しています。また、各産業を真正に持続可能なものにするためには、それぞれのサプライチェーンが役割を担っていることを考えなければなりません。各産業のサプライチェーンには、その役割に応じた役割が与えられ、それらを通じて、持続可能な農業と投資が保証され、より持続可能な農業や生産の両方の両方が得られるシステムへの進化が促されます。

このビジョンを実現するために2020持続可能な農業基準では、レインフォレスト・アライアンスは、持続可能な農業基準を長年にわたる努力と投資で実現しています。また、各産業を真正に持続可能なものにするためには、それぞれのサプライチェーンが役割を担っていることを考えなければなりません。各産業のサプライチェーンには、その役割に応じた役割が与えられ、それらを通じて、持続可能な農業と投資が保証され、より持続可能な農業や生産の両方の両方が得られるシステムへの進化が促されます。

「サステナビリティ産額」と「サステナビリティ投資」とは何か？

サステナビリティ産額
サステナビリティ産額は、認証生産者に付与されるべき支払される現金で、作物の市場価格に上乗せされるものです。サステナビリティ産額は定額ではありません。可能な限り、農場の生産者として支払いの責任は市場関係者の間で分かち合います。大規模な場合はその支払いを第一バイヤーが負うことになり、これは生産者の持続可能な農業基準の農場要件を満たす努力と特定の活動に對して考えられる支払いという原則があり、当該基準において具体化された持続可能な生産手段の奨励と実行にリンクするべきです。

サステナビリティ投資
サステナビリティ投資は、必須の現金投資または現物投資のことで、レインフォレスト・アライアンス認証製品のバイヤーから認証生産者へ支払われ、持続可能な農業基準の農場要件を満たすことを奨励する目的を有しています。これらの投資用途は、生産者が農業基準において必須項目であるのは必須の改善項目の基準を満たすために必要な投資、そして認証にかかわらず費用（デジタル内部管理システムの実施や管理費用）について異なります。サステナビリティ投資は投資計画で生産者によって特定されたニーズに向けて行われるべきで、バイヤーは自らの投資について報告しなければなりません。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program



生活所得

生活所得を支える技術

- デジタル内部管理システム
- 農場向けリスク査定ツール
- 生活所得監視ツール

生活所得要件(自己選択)には以下も含まれる。

- 認証農作物生産から得られる手取り収入の算定に必要な生産費用に関するデータの収集
- 生活所得基標と比較して手取り収入を評価

レインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムとは？ 生活所得

世界の生産者の持続可能な生計を可能にする



世界では14億人以上の人々が複雑な環境の中で生活しており、その大半は農村部に住んでいます。生産者、農産物消費者、消費者コミュニティの生計は、世界で最も多様な生態系と密接に関わっているため、より良い生計を実現することは、人と自然が調和の中で繁栄する世界を想像する私たちの目標にとって重要な鍵となります。

生活所得の達成と持続可能な生計を可能にするための私たちのアプローチは、生産者や消費者と協力して、持続可能な生計を築くことに焦点を当てています。2020認証プログラムでは、生産者がリスクを評価し、対策を講じることで、より多くの利益を得るための情報とツールを導入することで、これをさらに促進しています。また、企業に持続可能な生計を可能にするため、適切な技術のアプローチも提供しています。

生活所得を可能にするための新しいアプローチとは？

従来型の農産物に比べ、持続可能な生計を築くための私たちのアプローチは、これまででも、そして今も、生産者の暮らしを支えることに注力し、独自のテクノロジーと経験を活用しています。私たちは、2020認証可能な農産物の生産者と消費者と緊密な連携を築いていますが、それだけでなく、生産者が自分たちの農場における経済的なリスクと機会をより顕明にする必要があることを認識しています。同時に、生活所得の向上に向けて、より適切な高品質のサプライチェーン全体で農産物の共有を促進するために取り組んでいます。

認証標準の農場要件では、いくつかのツールを導入することで、より良い農場管理に重点を置いています。

- **デジタル内部管理システム**は、農場レベルでの詳細なデータ収集を容易にし、農場の業績を分析し、より多くの情報に基づいたビジネス上の意思決定を可能にします。
- **農場リスク査定ツール**は、生産者や消費者が持続可能なリスク

生活所得とは？

生活所得とは、ある特定の場所に住む消費者がすべての生活必需品を調達するために必要な収入のことです。適切な生活水準の確保には、食料、水、住居、教育、医療、交通、衣服、その他の必要不可欠なものを含め、季節ごとの必要を満たすために十分な労働が得られるように、労働者に必要な、その労働の価値に相当する賃金を得る必要があります。この価値は労働時間によって大きく異なります。十分な賃金を得るために、アンカール法に基づいてLiving Income Community of Practiceが開発した生活所得基準を参照してください。

生活所得(生産者が得ている)と生活賃金(労働者が受け取っている)は異なる高い指標です。生活賃金は受け取った収入については必ずしも高くないです。

生活所得と持続可能な生計の違いは？

持続可能な生計を築くというには、生産者が生計を立てるための手段、能力、収入を得る、資源を管理し、リスクを減らす、環境および経済的な需要の予測、対応し、回復することを意味します。生活所得を得ている生産者は、現在の標準的なニーズをすべて満たすことができます。しかし、持続可能な生計を築くためには、生産者が将来的にも生き残るために必要な機会を確保するために、農場や事業に投資する必要があります。持続可能な生計を実現するためには、明確な目標を設定し、しながら、生産者が生活所得を得るための条件を整える必要があります。

ニーズを把握し、農場の業績と経済状況を改善するため適切な投資を奨励するために設立されます。リスク査定の結果に基づいて、個々の農場計画に合わせた助言を提供します。

- 認証生産者の**利益とリスク**を評価し、生産者や消費者の全体的な

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program



生活賃金

生活賃金に関する農場要件

- 生活賃金との差異に関する透明性の確立
- レインフォレスト・アライアンス給与評価ツールの使用
- 提供された「生活賃金基標」との比較
- 賃金改善計画の導入

生活賃金に関するサプライチェーン要件(自己選択型)

- 生活賃金改善計画への貢献をバイヤーが約束



世界では10億人以上の人が極度の貧困の中で生活していますが、その中でも特に深刻な状況にあるのは途上国の貧民窟や農村部です。食料、医療、教育、清潔な水と衛生サービスは、世界中でも貧困な状況にある人々に不足しています。十分な収入を得ることで、人々は健康と福祉を改善し、生活水準を向上させることができます。農業生産者の力となる世界の中の何人かの人々は、生活賃金に関する目標を設定するために、生活賃金改善計画を導入しています。

2020年12月に発表された、農業や生産者への賃金を評価し、賃金改善計画を導くためのツールを開発しました。また、企業に自らのサプライチェーン全体を通じて賃金を改善するためのアプローチを提供しています。

生活賃金を実現するためにデータを使う

私たちの使命は、持続可能なサプライチェーンの発展が、農業労働者の賃金向上と生活水準向上を促進し、彼らに十分な収入を確保できるようにすることです。これは、サプライチェーン全体の透明性を確保するための重要なステップです。これにより、一貫性のある標準を共有し、透明性を確保し、検証することができます。

私たちの2020年目標達成報告書(「目標達成」)には、次のように報告しています。

- すべての労働者は、少なくとも最低限の賃金を受け取る。労働者に十分な収入と福利厚生を確保するための十分な収入を得る。
- 農場は、すべての種類の労働者に支払われた総支払額(現金+現金以外の福利厚生)を毎年更新し、給与評価ツールを使用して、生活賃金改善計画に貢献していることを示す。

生活賃金とは?

生活賃金とは、労働者が、国際労働機関(ILO)が定める基本的人権として認められています。生活賃金は、特定の場所で労働者が標準的な労働時間、適切な資金のことで、労働者と、その家族のために必要な生活水準を確保するために十分な金額です。これは、食料、水、住宅、教育、医療、交通、および教育を含む生活の基本的な費用すべてをカバーし、十分な余裕を確保するための十分な収入を確保し、十分な生活水準を確保することを意味します。労働者や家族、その他の生活水準にかかる費用は、費用によって異なるため、この金額は国や地域によって大きく異なります。レインフォレスト・アライアンスの生活賃金改善計画は、共同で設立した生活賃金改善計画(CIWC)と、アフォー-方法論(Labor Methodology)に基づいて、私たちの基準となる生活賃金の標準を確立しています。

ツールは定量的な賃金データを収集し、経営陣のすべての種類の労働者の生活賃金との差異を分析する。

- 報酬総額が、それぞれの種類の労働者の標準を下回っている場合、農場責任者は労働者の代表と協議の上、賃金改善計画を導入する必要があります。最低でも、賃金は国のインフレ率に基づいて毎年調整される必要がある。

この新しいアプローチにより、生産者は労働者の人権を保護し、労働者とともに賃金を上げることができるという明確な目標を立てることができるようになります。

責任を共有するアプローチをとる

リスク、時間、資源を生産者だけに負わせることは公平な方法に、契約改善の責任はサプライチェーン全体で共有されるべきではない。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program



2020認証プログラムにおける 体制面での刷新点

体制面での刷新点

- データの改善
- リスクベース方式
- 個別の状況の考慮
- 継続的な改善

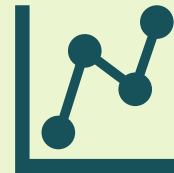
ITシステムの刷新

- 数々の刷新一より個別の状況に考慮し、データ主導で危険度を基本とする
- 3つの確認

リスクベースの
取組み



データ監視



強化された審査



背景にある原則

リスクベースの取組み

- 発生してからの取組みではなく、予防する取組みを促進
- 認証過程の最後にもみではなく、最初からデータを収集
- プログラム使用者に利用しやすい情報を提供（例えば審査計画準備のため）



データの改善

レインフォレスト・アライアンスは、新しい認証プログラム用に新しいデータシステムとツールを開発中。

地理空間データ(認証農園のGPS位置情報)

予定用途

- 森林破壊や保護区域への不法侵入リスクを監視
- トレーサビリティを向上

農園サポート・アプリケーション(FIA)(当団体のデジタルツール)

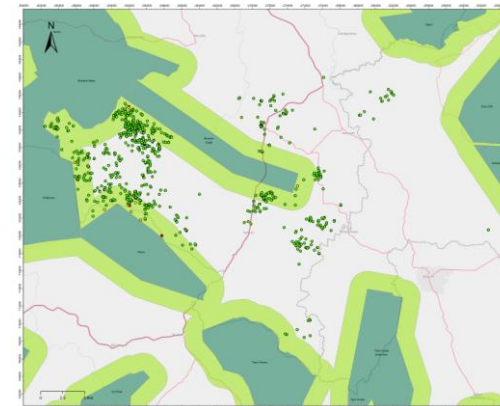
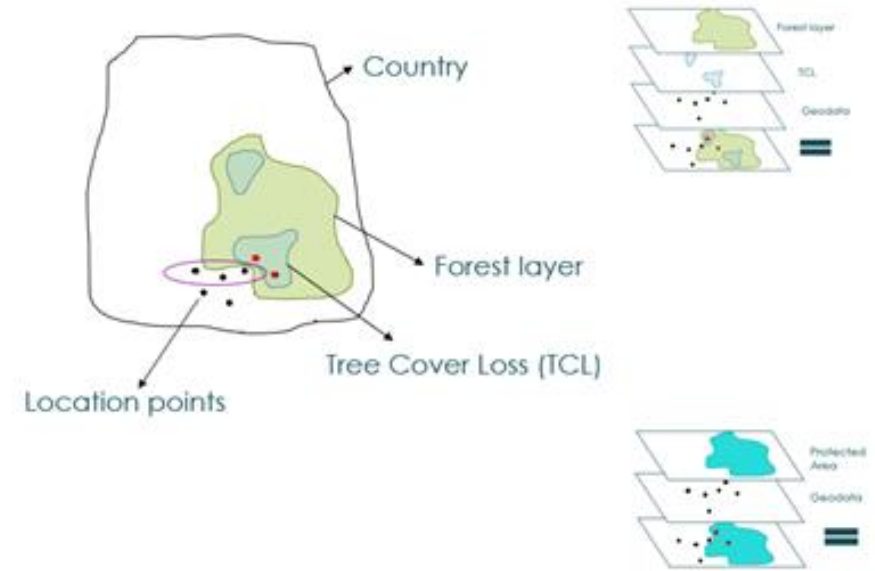
予定用途

- 信頼できるデータを収集し、農場の管理および継続的な改善を支援
- 個別の状況に応じてデータやツール、知識を提供し、農場での慣行の改善を支援



危険分布図の使用用途は？

- 森林伐採
- 児童労働
- 強制労働
 - I. 低度の危険性
 - II. 中度の危険性
 - III. 高度の危険性



リスクベース方式

複数レベルでのリスク査定

- 生産者による農場レベルでのリスク査定
- サプライチェーン関係者向けのサプライチェーンリスク査定 (SCRA)
- 重要な問題 (森林破壊、児童労働等) についての当団体による国レベルでのリスク査定、危険分布図

リスク査定は全関係者が実施

レインフォレスト・アライアンスは

- ✓ 適用可能な要件および検証のレベルを決定するため

生産者およびサプライチェーン関係者は

- ✓ 管理計画を策定し、重大な持続可能性のリスクの改善に重点を置くため

認証機関は

- ✓ 重大な持続可能性のリスクの審査に重点を置くため



レインフォレスト・アライアンスは、世界中のさまざまな環境で活動するさまざまな生産者や企業と提携しています。ガーナのコーヒー農園からバナナ生産者、エクアドルの大規模バナナ農園の所有者、米国のコーヒー焙煎業者など、私たちの基準と認証システムは、これらの多様な状況に適合できる柔軟性を誇っています。2020年認証プログラムでは、生産者や企業に対しそれぞれの状況に適した要件を提供し、農業サプライチェーンにおける持続的リスクを考慮していることを確認するために、さらに努力しています。

新しい仕組みとは?
認証の両側面にわたるコメントに応じて、万端型のモデルから、さまざまな状況に適応できるモデルへと移行しています。また、よりリスクベースでデータに基づいた検証を行うと期待しています。すべての農場について世界基準を設けることに変わりはありませんが、私たちの新しい仕組みは、生産者や企業が、それぞれの事業内容や資源している特定の持続可能性リスクに基づいて、関連する要件に集中できるように設計されています。結果として、さまざまな状況でのリスクに関する情報は、認証機関が審査を実施するためのより効果的な知識を身に付け、最も重要な問題に集中できるようになります。

新しい認証システムの主な革新点は?
強化されたデータ監視によるリスクベースの監視
私たちの新しい認証プログラムは、需要が発生してから単に対応するのではなく、持続可能性のリスクを特定し、軽減することに重点を置いています。レインフォレスト・アライアンス2020認証システムは、これを可能にするためにリスクベースの特長を特徴としました。リスク分析は従来のサプライチェーンレベルで実施され、認証プロセスのいくつかの異なる段階でレインフォレスト・アライアンス認証プラットフォームを通じてデータが提供されます。このデータは、各生産者や企業に適用される要件を決定するために使用されます。また、サプライチェーンリスク査定を導入しており、企業のサプライチェーンの潜在的なリスクを評価し、必要とされる検証の種類と頻度を決定します。これ



認証可能な生産者（緑）が企業をよりリスクが低い（黄）の地域に集中していることを示しています。

これらの認証プロセスで収集されたデータは、レインフォレスト・アライアンスにもリスクマップを作成するために利用されます。これらのマップは、消費者や関係者などによる持続可能性に関するリスクが、特定の地域での地理的傾向を示します。例えば、認証生産者の地理的集中度は、森林破壊や保護地域への農地の侵入リスクを低減するものとして利用されます。農業者や企業は、これらの傾向に対処するために、これらのリスクマップを使用して、特定の場所に基づいた意思決定を行うことができます。認証機関はこれらのリスクの低い領域に審査プロセスを集中させるために使用することができます。

これらの認証プロセスで収集されたデータは、レインフォレスト・アライアンスにもリスクマップを作成するために利用されます。これらのマップは、消費者や関係者などによる持続可能性に関するリスクが、特定の地域での地理的傾向を示します。例えば、認証生産者の地理的集中度は、森林破壊や保護地域への農地の侵入リスクを低減するものとして利用されます。農業者や企業は、これらの傾向に対処するために、これらのリスクマップを使用して、特定の場所に基づいた意思決定を行うことができます。認証機関はこれらのリスクの低い領域に審査プロセスを集中させるために使用することができます。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

個別の状況の考慮

各組織には、以下情報にもとづいた専用の基準要件一覧が届く。

事業のタイプと領域、たとえば：

- 小規模農場団体、大規模農場、サプライチェーン関係者、複数施設のどれに該当するか
- 労働者を雇っているか
- 加工にたずさわっているか

国や組織レベルでのリスク水準、たとえば、

- 事業をおこなっている国において児童労働のリスクがあるか
- 当該農場や加工設備が森林や保護区域の近くにあるか

登録の際に提供される情報によってリスクが特定され、要件が決定される。



レインフォレスト・アライアンスは、世界中のさまざまな環境で活動するさまざまな生産者や企業と連携しています。グローバル規模の生産者、エクアドルの大規模バナナ農園の所有者、米国のコーヒー焙煎業者など、私たちの基準と認証システムは、これらの多様な状況に高次元の柔軟性を与えていなければなりません。2020認証プログラムでは、生産者や企業に対し、それぞれの状況に適した要件を提供し、農業サプライチェーンにおける協力的リスクを考慮していることを確認するために、さらに努力しています。

新しい仕組みとは？
認証の基準を満たしたコメントメントに沿って、万端型のモデルから、さまざまな状況に適応できるモデルへと移行しています。また、よりリスクベースでデータに基づいた認証を行うと期待しています。すべての農場について世界基準を設けることに変わりはありませんが、私たちの新しい仕組みは、生産者や企業が、それぞれの事業内容や運営している特定の持続可能性リスクに基づいて、関連する要件に柔軟に対応できるように設計されています。結果として、関連するリスクに関する情報は、認証機関が審査を実施するためのより効果的な知識を身に付け、最も重要な問題に集中できるようになります。

新しい認証システムの主な革新点は？
強化されたデータ監視によるリスクベースの監視
私たちの新しい認証プログラムは、需要が発生してから単に対応するのではなく、持続可能なリスクを特定し、軽減することに重点を置いています。レインフォレスト・アライアンス2020認証システムは、これを可能にするためにリスクベースの特長で開発されました。リスク分析は従来のサプライチェーンレベルで実施され、認証プロセスのいくつかの異なる段階でレインフォレスト・アライアンス認証プラットフォームを通じてデータが提供されます。このデータは、各生産者や企業に課する要件を特定するために使用されます。また、サプライチェーンリスクを評価し、必要とされる認証の種類と強度を決定します。これ



生産者や消費者は、この図をよりリスクマップ、または森林保護リスクの基準に照らして色分けされています。

概要は、下記からダウンロードいただけます。

ra.org/2020-program

継続的な改善

4種類の要件

主要基準

- 全対象者に適用可能な合否方式の主要必須要件
- 持続可能な農業のための基礎となる基準

改善基準

- 段階的に達成すべき、より高い取組み水準
- 要件に定められた、3年の認証周期毎の水準

継続的改善基準(スマートメーター)

- 基準によって明らかになった、継続的改善が必要な領域
- 各組織は、個別の状況と、それぞれの事業に確認されたリスクにもとづいて独自の改善目標を設定

自己選択要件

- 生産者と企業は、持続可能性に関する特定の課題に取り組むために、追加的な要件の導入を選択することができる



継続的な改善

新認証導入の流れ

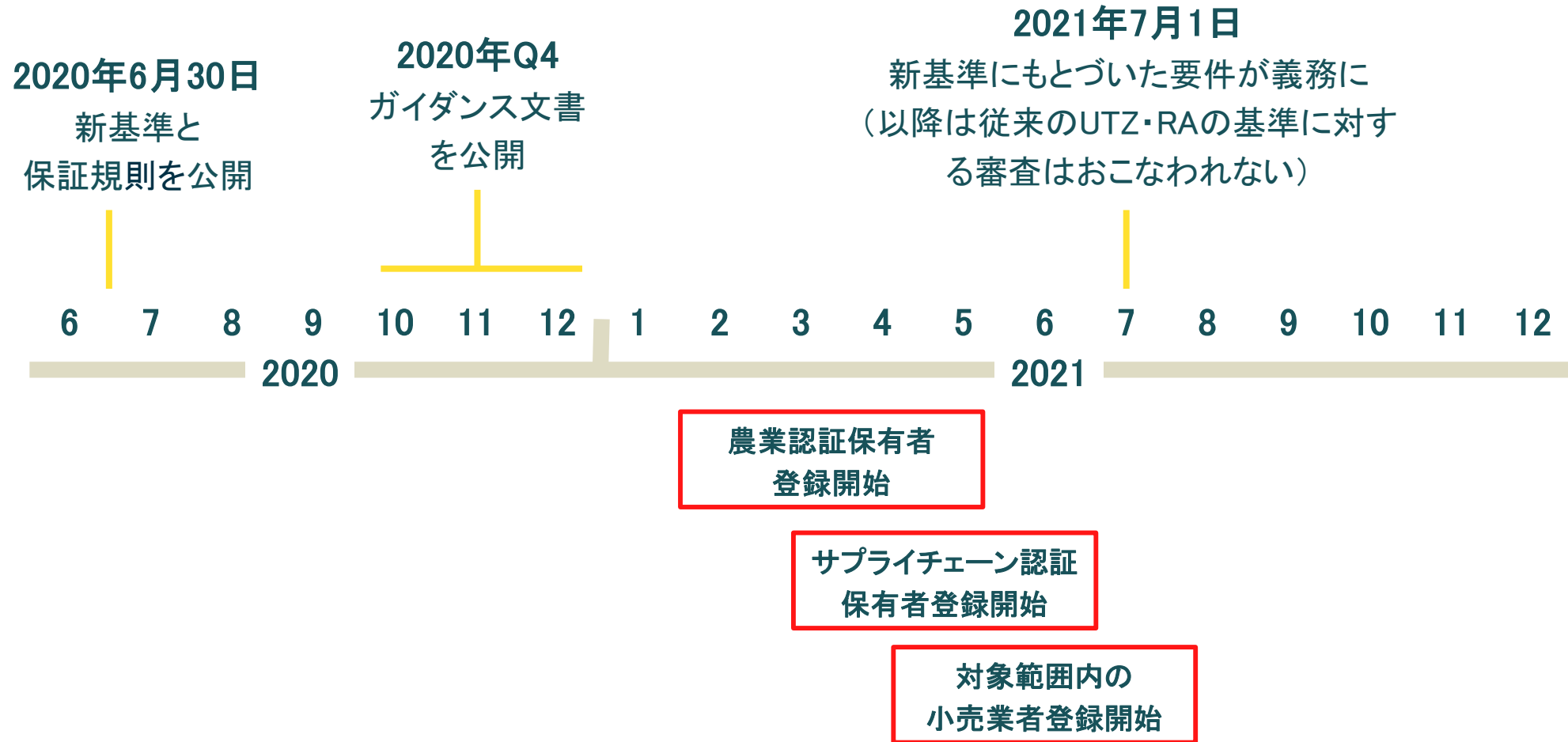
3つの作業

1. 新規登録

2. 審査の申し込み＋移行審査（サプライチェーンは、机上審査）＋移行認証（1年有効）取得

3. 2020新認証プログラム審査＋認証取得

導入スケジュール



移行ツール

組織が現在保有している認証の種類に基づき、それぞれの特定の状況に適用される移行ルールの文書および手順を、オンラインでユーザーに提供します。ログインする必要がなく、どなたでも数回クリックするだけで、各認証保有者が今後3年間でどのような具体的手順を踏む必要があるかを確認することができます。

認証書/認可/監査免除ライセンスのいずれかが2020年中に期限切れになりますか？
期間延長なしで、元の終了日を確認してください。

いいえ

認証書は農業が範囲に入っていますか？
UTZ 農園管理基準認証書またはレインフォレスト・アライアンス農業認証書をお持ちの場合は、農業が範囲に入っています。

はい

現在どの認証プログラムで認証されていますか？
UTZ とレインフォレスト・アライアンスの両方をお持ちの場合は、「両方」を選択してください。

選択してください

御社にとっての正確な回答を表示できるよう、更に情報を記入してください。



リセット

[リンク : 2020 認証プログラムへの移行方法 | Rainforest Alliance | 法人向け \(rainforest-alliance.org\)](https://rainforest-alliance.org/)

旧RAおよびUTZ認証との違い



合併前のプログラムから新プログラムへの変更 点一認証と審査

合併前のプログラム	2020 RA 認証プログラム
IMS事務所/団体での位置情報 (UTZ), 農場での位置情報 (RA)	農場単位レベルでの位置情報 
1年の認証周期(UTZ), 3年の認証周期 (RA)	3年の認証周期
IMS に特別な焦点はなし	団体管理保証
監査計画に特別な焦点はなし	審査の計画とサンプリングに明確な焦点 
認証保有者は、いつでもCBを変更できる	認証保有者は、1周期同じCBにとどまる
CB は履歴書と必要な研修を基に承認	CBの人員に対し最低限の能力レベルを要求
審査員のローテーション (UTZ)	新 - 利益相反を回避するための審査員のローテーション
-	新 - 詐欺と汚職防止に関する項目
-	新 - CB能力の評価
-	新 - CB職員の明確な分離 - プログラム管理と審査部門

Group management

The entity that signs the certification agreement with the Rainforest Alliance accredited certification body and takes responsibility for the development and implementation of the group's internal management system and all member farms' management systems. The group management is responsible for assuring member farms' compliance with the Standard.

サプライチェーン関係の要件

第2章：トレーサビリティ				
RA 2020 の項目	RA 2017	おもな変更点	UTZ 2015	おもな変更点
2.1 トレーサビリティ	CC: 1.2、1.3、 C: 1.9, 3.36	<p>認証保有農場とサプライチェーン認証保有者の両方を網羅した製品工程の図示を含め、トレーサビリティ表示を裏付けるための認証数量の記録と文書化を、より重視。</p> <p>小規模農場の生産者団体においては、個別の生産者から IMS までのトレーサビリティを重視。</p>	<p>個別 I.A.16~19</p> <p>団体 G.A.22~25</p> <p>ChoC CP.4~15</p>	<p>認証保有農場とサプライチェーン認証保有者の両方を網羅した製品工程の図示を含め、トレーサビリティ表示を裏付けるための認証数量の記録と文書化を、より重視。</p> <p>小規模農場の生産者団体においては、個別の生産者から IMS までのトレーサビリティを重視。</p>
2.2 オンラインプラットフォーム上のトレーサビリティ	以前は認証規則に含まれていた	<p>農場とサプライチェーンの連携を改善し、サプライチェーンを強化するために、取引が、オンラインプラットフォーム上で、いつどのように記録されなければならないかに関する要件が、より明確に。</p> <p>認証製品は、小売段階に至るまで登録。重複販売を明確に禁じる要件の導入。</p>	<p>個別 I.A.16~19</p> <p>団体 G.A.22~25</p> <p>ChoC CP 4~15</p>	<p>農場とサプライチェーンの連携を改善し、サプライチェーンを強化するために、取引が、オンラインプラットフォーム上で、いつどのように記録されなければならないかに関する要件が、より明確に。</p> <p>認証製品は、小売段階に至るまで登録。</p>
2.3 マスバランス	マスバランスに関する規則	カカオへのオリジン・マッチング(原産国の一致)要件の導入	ChoC CP19、20	カカオへのオリジン・マッチング(原産国の一致)要件の導入

サプライチェーン関係の要件

第3章：収入と責任の共有

RA 2020 の項目	RA 2017	おもな変更点	UTZ 2015	おもな変更点
3.1 生産経費と生活所得	-	<p>必須要件には変更なし。</p> <p>自己選択要件については、2020 基準には、生産経費の計算とその情報の活用、ならびに生活所得の算定の開始を目的として、団体責任者要件を追加。</p>	<p>個別 I.A.20 団体 G.A.26</p>	<p>自己選択要件については、2020 基準には、生産経費の計算とその情報の活用、ならびに生活所得の算定の開始を目的として、団体責任者要件を追加。</p> <p>2020 基準では、団体構成員へのサステナビリティ差額の支払いに加えて、文書化と記録管理に対する要求が強化されている。</p>
3.2 サステナビリティ差額 (SD)	-	<p>サプライチェーン認証保有者によるサステナビリティ差額の支払いと、生産者に対してまたは労働者の利益のための、その再配布。</p>	<p>個別 I.A.20 団体 G.A.26、27 ChoC CP 16、17</p>	<p>SD 支払額は、総額が、個々の団体構成員に渡されなければならない（団体認証の場合）。あるいは労働者の利益のために支払われなければならない（個別認証の場合）。</p> <p>新基準では、SD の支払いは、現物支給ではなく、現金払いでなければならない。</p> <p>登録要件により、サプライチェーン下流まで透明性が改善。</p>
3.3 サステナビリティ投資 (SI)	-	<p>バイヤーは、認証保有農場の投資計画に基づいて、サステナビリティ投資に貢献。</p>	-	<p>サステナビリティ投資(SI)は、SD に加えて行い、それらの報告は、SD の支払いとは別に行う。SI は、どのような投資が必要かをまとめた農場の投資計画に沿う。</p>

もっと詳しく知るには

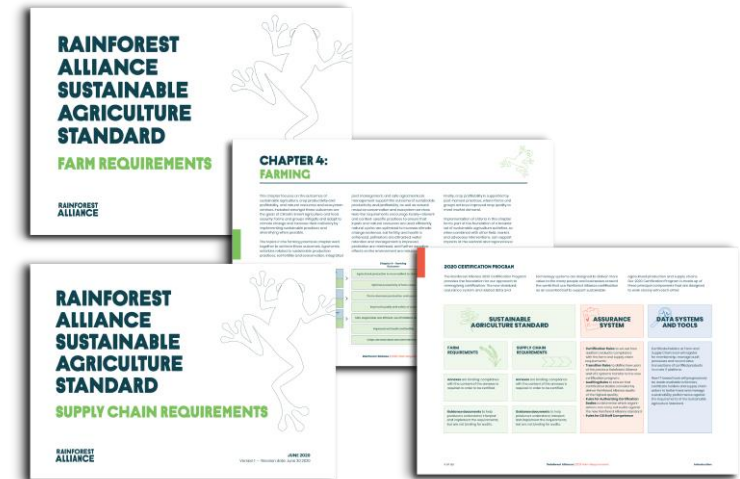
プログラムについて、もっと詳しく知るには

レインフォレスト・アライアンス・ウェブサイトの
メインページ経由で2020認証プログラムに
関する文書にアクセス:

- 2020持続可能な農業基準：
 - 農場要件
 - サプライチェーン要件
- 保証に関する文書
- 関連資料
- 概要
- よくある質問(英語版)



2020年の地球規模の異例な出来事と拡大する気候危機は、私たちと天然資源との関係を変化させる緊急の必要性と、組織的な社会の不正義に真正面から取り組む必要性を浮き彫りにしました。持続可能性に取り組む必要性はこれまで以上に高まっています。30年以上の経験のある持続可能な農業の専門家として、今こそ「認証の再構築」を進める時なのです。



新しいレインフォレスト・アライアンス 認証マーク

商標使用申請：概要

カスタマーサクセスチーム

上松紀代子

新しいレインフォレスト・アライアンス認証マーク



新しい認証マークへの移行：

2022年12月31日が旧認証マークの使用申請最終期限です。
※カカオ製品はすでに旧認証マーク、UTZ認証マークの使用申請の受付は終了しました。

商標使用申請：概要

商標：「レインフォレスト・アライアンス認証マーク」、「レインフォレスト・アライアンス」、「レインフォレスト・アライアンスの団体ロゴ」

承認申請に必要なもの：

- ✓ マーケットプレイス2.0 (<https://marketplace.ra.org/login/>)
- ✓ 有効なライセンス同意書2020
- ✓ 承認が必要な資材
例：包材の場合は製品パッケージの展開図、ウェブサイトでの商品の宣伝の場合はレインフォレスト・アライアンスや認証に言及している段落だけでなく、ページ全体→「Upload material for approval」に添付。
- ✓ 補足資料の準備
例：承認が必要な資材の英語訳資料→「Supporting file as needed」

Approval Request

Cancel Send Cancel subm. Save Draft

Upload material for approval *



Drop file or click to upload

Comment

Select the mark used in your material ⓘ

* Rainforest Alliance Certified

Rainforest Alliance logo

Supporting file as needed - not part of the approval ⓘ



Drop file or click to upload

商標使用申請：概要

承認に要する時間：10営業日以内の審査。

承認審査のステータス

「Awaiting Review（審査待ち）」、
「Changes Required（要修正）」、「Resubmitted（再提出）」、
「Conditionally Approved（条件付き承認）」、
「Approved（承認）」

※時間的余裕を持ってご申請ください。

承認の有効期間：2年間

※承認を得た後にデザインを変更する場合は、変更版を申請の上、承認を得てください。

商標使用方針、マークのグラフィックガイドライン の改訂

商標使用方針、マークのグラフィックガイドラインの改訂

認証マークの改訂：



「TM」マークは不要：

どの言語であっても「Rainforest Alliance Certified」の後の「TM」マークは不要です。

→ 参考：「Translation Guide」 <https://www.rainforest-alliance.org/business/wp-content/uploads/2020/09/RAC-Translation-Guide.pdf>

商標使用方針、マークのグラフィックガイドラインの改訂

最小マークサイズ：13mm

認証マーク貼付先資材によって推奨している最小マークサイズがあります。詳しくはマークのガイドラインp12をご参照ください。

ウェブ・リンク：B2C資材（包材、宣伝広報資材含む）には必ず当団体のウェブサイト・アドレスの紹介を含めてください。

例：「レインフォレスト・アライアンス認証。詳しくは www.rainforest-alliance.org/ja」 URLは短縮版「ra.org/ja」を使用していただくことも可能です。

ウェブサイト・アドレスの記載が省略可のケース：生鮮果実や野菜に貼付される25mm幅（高さ）のステッカーシール上。但し、外装ケースや商品ブランドウェブページのいずれかでウェブサイト・アドレスの記載が必要です。

商標使用方針、マークのグラフィックガイドラインの改訂

複数原料製品

「中心原料」の要件#3のみに該当する「中心原料」については、承認に時間がかかる可能性があります。

「中心原料」の定義:

要件	例
1. <u>製品レシピ全体</u> の30%以上を占める原料。	ジュース、スムージー、もしくはハーブティーのティーバッグに使用される、リンゴ、パイナップル、バナナ等。
	もしくは
2. 製品名および/または包材前面のイメージ画像に含まれている原料。	包材前面に描かれている、「フレンチバニラアイスクリーム」に使用されるバニラ、「ココアバター・リップクリーム」に使用されるカカオ、「マルチビタミンジュース」に使用されるオレンジ
	もしくは
3. 製品の製造に不可欠な原料。	ジンジャークッキーに使用されるショウガ、アイスティー飲料に使用される茶葉、ヌガー菓子に使用されるヘーゼルナッツ

商標使用方針、マークのグラフィックガイドラインの改訂

複数原料製品におけるマーク下での明瞭表示の省略：

中心原料が製品原料全体の少なくとも95%（重量）を占める場合。

例：フレーバーコーヒーなど

ただし、その他の要件（認証原料の原材料名欄での特定、当団体のウェブサイトの記事）については満たす必要があります。

※ハーブ&スパイス製品に分類される「ルイボス」についても適用できます

商標使用時の注意事項

商標使用時の注意事項

公式な認証マークのアートワークを使用：
認証マークには白縁があります。



配置と余白：

- 余白部分の維持
(その他の認証マーク、ブランドロゴ、文章などに注意)
- 消費者に商品ブランド、企業名などと誤解を与えないように配置
(レインフォレスト・アライアンス認証マークをブランドロゴやその他の認証マークより大きく表示し配置する必要はありません)



商標使用時の注意事項

認証マーク下での認証農産物の表示：

- フォント
Source Han Sans JP Medium
(日本語表記)
<https://fonts.adobe.com/fonts/source-han-sans-japanese>
- Poppins SemiBold (英語表記)
※Title Case = 頭文字のみ大文字
(例：Coffee)
- フォント色
使用する認証マークの色に合わせる
(例：Pantone3165, Pantone Process
Balack, CMYK0000)
- フォントサイズと配置



商標使用時の注意事項

原材料名欄：

認証原料の明記「レインフォレスト・アライアンス認証紅茶」などの文言は原材料名欄と同じ面に記載してください。

新旧マークの併用：

- ✕ 旧マークと新マークの資材での併用
- ✕ 旧マークが貼付された製品の広報宣伝資材での新マークを使った販促

説明文言

- レインフォレスト・アライアンス、認証、マークについての説明は「文例集」から：<https://www.rainforest-alliance.org/business/ja/持続可能性に関するマーケティング/レインフォレスト・アライアンスを説明する文例/>
- 名称は常にフルネーム（RFA,RAなどの省略は禁止）
- コミュニケーション（広報）の基本指針についても参照：
<https://www.rainforest-alliance.org/business/wp-content/uploads/2019/10/sustainability-communication-guidelines-for-companies.pdf>

Marketplace 2.0 使用上の注意

使用ブラウザ

取引証明（TCs） Shipment Date入力に関する規制

カカオのオリジンマッチングに関連した更新

Marketplace 2.0使用上の注意

使用ブラウザ : Internet Explorer以外のブラウザを使用してください。

(例 : Firefox, Google Chrome)

取引証明(TCs) : Shipment Date入力に関する規定。

- 新規TC、Pending TCs : **Shipment Date** > 作成日
- Approved TCs : **Shipment Date** > **Issue Date**

※TC内容の修正時（例：Volumeの修正）、Shipment DateがIssue Date以降にて作成されていたTCについてはエラーとなり、Shipment DateをIssue Date以前に修正が必要となります。

Add Transaction Certificate .

Cancel Other Save Submit

Transaction Certificate ⓘ

ⓘ Validation error(s)

- Shipment date cannot be after the original TC creation date.

Marketplace 2.0使用上の注意

カカオのオリジンマッチング（原産国の一致）に関連した更新：
2020年10月1日以降、カカオの原産国の一致が必要です。その為、新規の
Output ProductはサプライヤーからのTC情報に合わせて、原産国を1カ国選
択して入力してください。

例：

① Validation error(s)

- For cocoa TCs, separate TCs have to be reported per country of origin. The inputs for this TC are coming from multiple countries, but the claim for the output is for Colombia. Please verify.

① Validation error(s)

- For cocoa TCs, separate TCs have to be reported per country of origin. The inputs for this TC are coming from Côte d'Ivoire, but the claim for the output is for multiple countries. Please verify.

① Validation error(s)

- For cocoa TCs, separate TCs have to be reported per country of origin. The inputs for this TC are coming from Côte d'Ivoire, but the claim for the output is for Barbados. Please verify.

Status	Crop	Product type	Type of claim
Enter o... ▾	Enter... ▾	Enter or select a value ▾	
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Segregated: Dominican Republic
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Segregated: Ecuador
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Segregated: Côte d'Ivoire
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance: Ecuador
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance:
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance: Côte d'Ivoire
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance:
● Active	Cocoa	Cocoa liquor / mass	Cocoa: Mass balance: Côte d'Ivoire
● Active	Cocoa	Cocoa powder / cake	Cocoa: Mass balance:
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Segregated: Dominican Republic
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance:
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance:
● Active	Cocoa	Cocoa liquor / mass	Cocoa: Segregated:
● Active	Cocoa	Chocolate (semi-finished)	Cocoa: Mass balance:

登録済みのOutput Productに原産国が入力されているかどうかは、Output Product Overviewからも確認していただけます。原産国が入力されているOutput ProductについてはType of Claimに表示されます。

	Status	Type	Issued On	Shipment date	Crop	Traceability type	Origin
<input type="checkbox"/>	Enter ...						
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	17-11-2020	16-11-2020	Cocoa	Segregated	Ecuador
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	17-11-2020	16-11-2020	Cocoa	Segregated	-
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	06-11-2020	Cocoa	Segregated	Côte d'Ivoire
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	02-11-2020	Cocoa	Segregated	Côte d'Ivoire
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	02-11-2020	Cocoa	Segregated	Ecuador
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	02-11-2020	Cocoa	Segregated	Côte d'Ivoire
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	06-11-2020	Cocoa	Segregated	Ecuador
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	06-11-2020	Cocoa	Segregated	Ecuador
<input checked="" type="checkbox"/>	Approved	Incoming	12-11-2020	06-11-2020	Cocoa	Segregated	Ecuador

Transaction OverviewにてOutput Productに原産国情報が含まれているかどうかを確認していただけます。

お詫びと訂正

承認の有効期限について

ご案内しました2年間の承認有効期限について、期限が来た際の手続きのご案内誤りがありました。大変申し訳ございません。下記の通り、訂正しお詫び申し上げます。

承認済みのデザインに関して、有効期限が来た場合には「再度申請をし直し、承認を得て下さい」とご案内させて頂きましたが、正しくは「**マーケットプレイス上で有効期限の終了時に有効期間を更新して2年延長するか、もしくはそのまま満了させるかについてが選択可能**」となります。

ただし、内容に変更を加える場合は新規承認申請として再度申請が必要です。また承認が与えられた時点から有効期間終了日までの期間中に当団体のラベル表示要件に変更があった場合には、最新の要件に準拠しない限り、有効期限の更新はできず、新規承認申請が必要となります。

(参照：旧ラベル表示と商標方針6.4、改訂版 Updated Oct2020 :
7.4 Approval Validity)



質疑応答

日本語ウェブサイト : <http://www.rainforest-alliance.org/lang/ja>
日本語Facebook : レインフォレスト・アライアンス日本
日本語twitter : @Rainforest ALJP

**RAINFOREST
ALLIANCE**

rainforest-alliance.org

233 Broadway, 28th Floor
New York, NY 10279
USA

De Ruyterkade 6
1013 AA, Amsterdam,
The Netherlands